

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成19年 7月24日

施設名	室戸広域公園	所管課室	土木部公園下水道課
-----	--------	------	-----------

1 施設の概要

指定管理者名	株式会社 双葉造園	指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成21年3月31日
施設所在地	高知県室戸市領家800		
事業内容	<p>1. 施設の運営に関する業務</p> <p>(1) 施設等の利用に関する業務</p> <p>(2) 施設等の利用料金の徴収</p> <p>2. 施設等の維持管理に関する業務</p> <p>(1) 運動施設管理業務</p> <p>(2) 植栽管理業務</p> <p>(3) 施設等保守管理業務</p> <p>(4) 清掃業務</p> <p>(5) 警備業務</p> <p>3. 公園全般に係るその他の業務</p> <p>(1) 公園の利用案内</p> <p>(2) 利用促進のための企画等の実施</p> <p>(3) 周辺市町村・団体等との協力、連携</p> <p>(4) 県民やボランティア等との協働事業の推進</p> <p>(5) 公園に関する情報の提供</p> <p>(6) 公園に関する要望及び苦情の処理</p> <p>(7) 緊急対応体制の確立</p> <p>4. 物品の管理</p>		
施設内容	<p>面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>【公園全体】 面積(供用開始): 28.5ha</p> <p>【野球場】 センター122m 両翼100m 内野1,827人収容・外野7,285人収容 (高校生以下6,890円/日、その他の者13,800円/日)、スコアボード(270円/時)、シャワー(1回100円)</p> <p>【運動広場】 野球1面、少年野球2面、ソフトボール2面、サッカー1面、外野芝席2,550人収容 (高校生以下2,280円/日、その他の者4,550円/日)</p> <p>【雨天練習場】 雨天時の野球練習、ティバッテング (高校生以下820円/日、その他の者1,650円/日)</p> <p>【屋根付多目的広場】 (高校生以下2,700円/日、その他の者5,400円/日)</p> <p>【遊戯施設】 フィットネス広場、スケートパーク広場、アスレチック広場、ちびっ子広場、ふれあい広場、花見広場 開園時間: 8:30 ~ 17:00 休園日: 12月29日 ~ 1月3日</p>		
職員体制	双葉造園の社員3名が施設の管理に当たり、清掃業務(1名)と夏期の施設(4名のローテーション)については室戸市から雇用している。		

2 収支の状況

単位:円

		18年度(決算)	19年度(予算)
収入	県支出金	13,785,000	13,711,000
	使用料・手数料	1,605,040	2,227,000
	その他	300,000	300,000
	収入計 (a)	15,690,040	16,238,000
支出	事業費	0	0
	管理運営費	7,667,850	6,618,000
	人件費	8,744,706	9,620,000
	その他	0	0
	支出計 (b)	16,412,556	16,238,000

3 利用状況

	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(目標)
年間利用者数(単位:人)	14,946	17,957	19,753
利用者意見等の反映	利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ちびっ子広場に利用者のアンケート用紙を設置していたが、記入者が少なく撤去しているため、今後は指定管理者から公園利用者に声をかけて、積極的に意見を聞く等の取組みが必要であろう。		
	その他 野球合宿で利用する大学側から、屋根付き多目的広場の照明設置やピッチングマシンの要望があがっているが、18年度はリースで対応。		

4 平成18年度業務評価

項 目	状 況 説 明
適正な管理運営の確保	概ね事業計画に基づく適正な運営管理が実施されていた。施設の利用調整業務では、予約受付状況をホームページ上で公開し、施設利用関係者と公園管理者でスケジュール調整会議を開催するなど、平等に利用できるような工夫がなされていた。 また、地元の「室戸2000本桜の会」と連携して、公園内の植栽管理への協力があることや、植栽管理や清掃業務を地元雇用で実施したり、材料、消耗品等を地元店で購入等地域との協働を図る取組が見られる。
利用者サービスの維持向上	施設の予約受付状況をホームページで公開し、利用者に情報提供を行うとともに、近隣の宿泊施設の予約状況の情報提供を行い、合宿や試合等で運動施設を利用する者の利便性を図っている。 来園者が再度利用したいと思えるような公園をめざし、清掃や植栽管理に気を配っている。 運動施設については、日頃から利用日に向けた計画的な作業を行い、常に利用者に満足してもらえるような整備を心がけている。
利用実績	国立室戸青少年自然の家、県立室戸高校や地元の宿泊施設と連携して、運動施設の利用促進を図り、利用料はアイランドリーグの試合数の減少等があり、減額となったものの、利用者数及び利用件数とも増加している。
収支の状況	当初の予算執行計画より、人件費が大幅に上回ったが、光熱水費、備品消耗品や原材料費等で経費削減に努めた結果が見られる。
総合評価	協定書及び事業計画に基づき管理運営業務が実施されるとともに、利用促進のためのサービス向上にも取り組んでおり、適正な管理運営がされたと認められる。 B 今後は、自主事業等を企画して、公園の利用促進に繋がるイベントの企画等に取り組むことが必要と思われる。

[評価の目安]

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの